

一色東部小学校の取り組み

本校では、様々な災害を想定し、地域や市と連携した防災教育を行うことで、いざという時に適切に判断し、自らの命を守ることができる子どもの育成を目指しています。また、今年度は、もし災害が起きたときに落ち着いて行動できるように、無告知避難訓練や通学路のチェックの取り組みを行うなど、子どもたちや職員の意識を高めることを目指しました。



5月24日 地震・津波避難訓練実施

震度6強を想定した地震・津波避難訓練を実施しました。子どもたちは素早くシェイクアウトを行い、担任の誘導でグラウンドに避難しました。また、近くに保育園があることから、保育園と連携して行い、保育園児もグラウンドに避難しました。その後、津波発生を想定して、校舎の3階に避難しました。6年生の振り返りには、「いつ起きるか分からないから、真剣に行うことができた」と書かれており、全体的に集中して行うことができました。

地震がいつ起きてもシェイクアウトがとれるように、6年生によるシェイクアウトの仕方の映像作りを行いました。教室、廊下、体育館、グラウンドでの対処方法をそれぞれ解説しながら紹介しました。特に、教室でのシェイクアウトの仕方は、机の脚をしっかりと持つこと、頭を机の下に入れることなど低学年にも分かりやすい内容で作ることができました。昼の放送で何度も流し、シェイクアウトの仕方が浸透するように努めました。



7月上旬 シェイクアウト映像作り



7月17日2限放課に無告知避難訓練を行いました。事前に6年生の児童会役員2人のみに伝え、他の子どもたちには一切伝えずに行いました。放送の地震を告げる音が聞こえると、教室や廊下でシェイクアウトの姿勢をとるなど、映像の効果が見られました。しかし、グラウンドへの避難行動は、静かに移動することができず、私語が目立ちました。児童会役員は、シェイクアウトから避難行動までの様子を見て、全体で集まったときに訓練の振り返りを発表しました。

7月17日 無告知避難訓練実施

地域の防災訓練に学校全体で参加しました。その中で、6年生が中心となり、地域の方々に発表する時間を設定していただき、今までの活動をプレゼンテーションしました。発表した子どもたちの振り返りには、「地域の人たちに自分たちがやっていることを伝えられてよかった」「これからも防災について学んでいきたい」など前向きなことが書かれていました。地域の方々からは、「子どもたちの発表を受けて、自分たちももっとがんばらないといけない」とご意見をいただき、防災について改めて考える機会となりました。



9月9日 校区防災訓練参加



9月9日 防災勉強会実施

防災訓練の日に、子どもたちは通学団に分かれて通学路の危険箇所について話し合う時間を設定しました。通学路の写真や映像を見ながら、ブロック塀の多いところに注目したり、安全な避難場所を確認したりするなど、班全体で情報を共有することができました。子どもたちの振り返りには、「毎日通る通学路だからこそ、安全に登下校できるように、今回話し合ったことを大切にしていきたいです」と書かれており、防災意識を高めることができました。

○実践委員会を通して

近藤ひろ子先生の講演で、シェイクアウトの方法を教えてくださいました。ご指導の中に、「だんごむしスタイル」という言葉があり、低学年にも分かりやすい言葉であるため、本校でのシェイクアウト映像作りに活用させていただきました。シェイクアウトとは、「だんごむし」の姿勢をとること、ということが定着し、シェイクアウトがきちんとできるようになりました。

また、避難訓練のガイドラインについての話し合いでは、「地震の揺れは3分以上を想定すること」「津波警報が出たら、グラウンドに出るよりも3階以上に避難すること」など、本校の避難訓練では考えられていないことを教えてくださいました。今後の活動に生かしていきたい点でした。

【今年度の成果】

- ・シェイクアウトの徹底化を図ることができ、防災意識を高めることができました。また、無告知避難訓練を行うことで、いつ起きるか分からないという意識をもたせることができました。
- ・通学路の危険箇所についての話し合いでは、自分たちの通学路について見直しがされ、情報共有することができました。

【次年度に向けての課題】

- ・「避難経路が通れない」「放送機器が使えない」など、様々なケースを想定した訓練を行っていき、訓練から課題が見つかるような形をとっていくことが大切だと感じています。